Public Relations Magazine

KUMAGAYA

市報くまがや

4

2026.Apr
Vol.247

特集 | 令和８年度 予算の概要



撮影地：小江川

進め、明日のその先へ
KUMAGAYA

市報熊谷
2026

令和8年度　予算の概要

令和8年度予算の概要と主な事業についてお知らせします。

問 財政課　内線241



熊谷市長
小林（こばやし） 哲也（てつや）

市民の皆様には、日頃から市政進展のため、ご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

昨年度は、保育料の完全無償化を開始するなど子育て世帯に対する支援のほか、物価高騰対策に機動的に取り組むとともに、市民の利便性や生活の満足度を高める自治体DXやスマートシティの取組を積極的に実施してまいりました。

令和8年度は、第2次熊谷市総合振興計画後期基本計画に掲げた8つのリーディング・プロジェクトと8つの政策を推進するとともに、政策理念に掲げる「新熊谷ブランドの創造」の実現に向け、予算規模803億円、対前年度比6億円、率にして0.75%増の予算といたしました。

本年4月にオープンした子育て支援・保健拠点施設「くまキッズ」を核として妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援の充実を図るほか、教育環境の向上と災害時の避難所環境の改善を目的とした小中学校の体育館空調整備など、子どもたちの健やかな成長や子育て世帯への支援を引き続き実施してまいります。

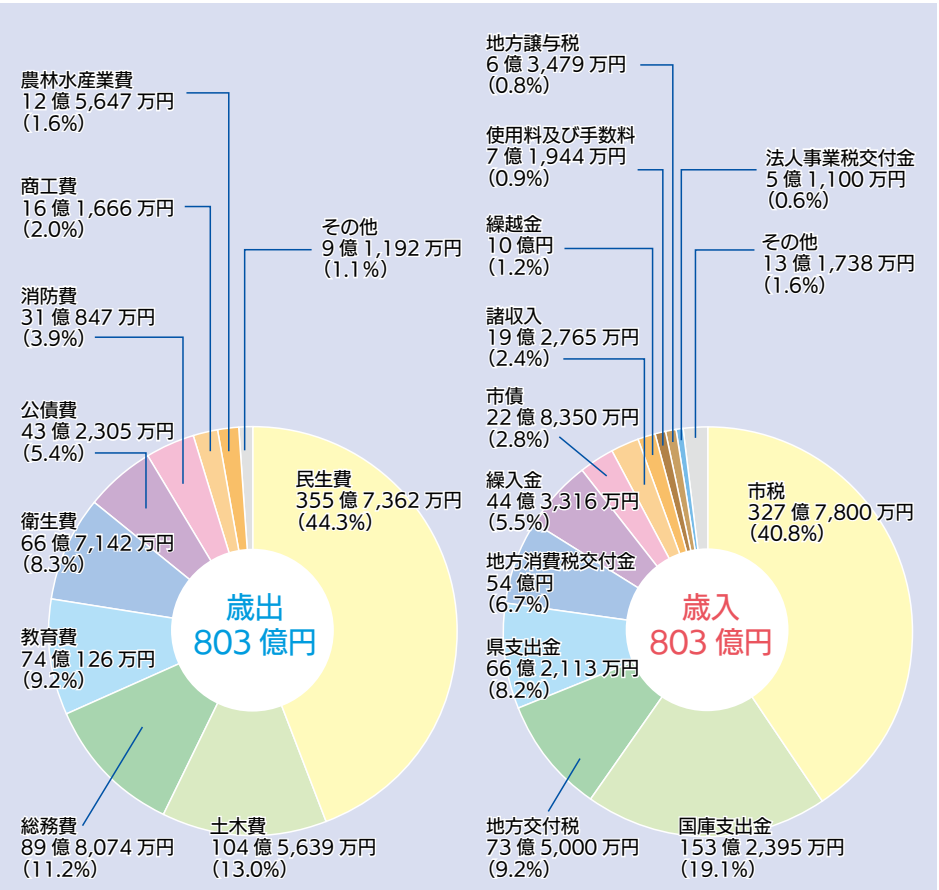
また、本市の地域資源や特性をいかしたまちづくりや「（仮称）第二中央生涯活動センター」の整備をはじめとした次世代のための公共施設マネジメント事業も進めてまいります。

これらの取組が実を結び、選ばれる熊谷市となるよう、市民皆様の声に耳を傾け、健全財政を維持しながら全力で取り組んでまいりますので、ご協力をお願いいたします。

令和8年度 当初予算額

一般会計	803億円
特別会計	249億6,900万円
国民健康保険	188億6,021万円
公共用地先行取得	6億8,600万円
土地区画整理事業	15億4,015万円
後期高齢者医療	38億8,264万円
水道事業	87億8,800万円
下水道事業	80億7,500万円
合　計	1,221億3200万円

一般会計　歳入・歳出の内訳



物価高騰対策

●水道料金の軽減（5億944万円）
物価高騰の影響を受けている世帯や事業者を支援するため、水道料金の基本料金を４か月分免除します。妻沼小島地区については、太田市域における基本料金相当分を別途補助します。

親子の笑顔が輝くまちづくり

●子育て支援・保健拠点施設管理運営経費（2億4,158万円）
児童館と児童クラブを併設したこども館、保育所、保健センター、休日・夜間急患診療所などの機能を集約した「くまキッズ」において、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を行います。

●母子保健事業（1億6,050万円）
乳児の健康管理や病気の早期発見につなげるため、新たに生後１か月児に対する健康診査の費用の一部を助成し、出産後から就学前までの切れ目のない健康診査の実施体制を整備します。

●小学校給食費無償化事業（4億5,178万円）
小学校の給食費について、国の制度に基づき、本年４月から無償化し、子育て世帯の経済的な負担軽減を図ります。

●物価高対応中学校給食費支援事業（3,778万円）
中学校の給食費について、食材費の高騰に伴う給食費改定分を支援し、子育て世帯の経済的な負担軽減を図ります。

●小学校・中学校体育館空調設備整備事業（12億4,500万円）
児童・生徒の教育環境の充実と災害時の避難所環境の改善のため、順次、小中学校の体育館に空調を整備します。本年度は、小学校５校（石原・久下・奈良・妻沼・江南北小）、中学校３校（中条・別府・大里中）において設置工事を行うほか、長井小学校の断熱改修工事を実施します。また、次年度以降の工事に向けた設計を進めます。

次世代のための公共施設マネジメント

●北部地域振興交流拠点施設（仮称）推進事業（7,221万円）
埼玉県と共同で整備を進める北部地域振興交流拠点施設・市庁舎の整備に向け、実施方針を策定するとともに、オフィスの実証実験や行政文書の電子化などを行います。

●（仮称）第2中央生涯活動センター整備事業（9億239万円）
市民活動支援センター、コミュニティセンター、勤労青少年ホームなどを集約し、異分野・多世代が交流できる施設を整備します。令和９年１０月のオープンに向けた建設工事を行います。

●（仮称）新熊谷衛生センター整備事業（1,126万円）
これまで大里広域市町村圏組合で準備を進めてきた新たなごみ焼却施設について、熊谷市単独で整備することとなったため、令和１４年度の供用開始を目指し、事業者の選定方法の検討などを行います。

●（仮称）アクアピア2整備事業（2,500万円）
新たなごみ焼却施設の焼却時に発生する余熱を利用し、健康増進や小中学校のプールの代替機能としても活用できる水浴施設の整備に向け、基本構想・基本計画を策定します。

●南部消防庁舎整備事業（1,616万円）
施設の老朽化が著しい江南分署および大里分署を統合して新たに南部地区に消防庁舎を整備するための基本計画を策定します。

スマートシティ(※)関連事業 ※ICTなどの先進的な技術をいかしたまちづくり

●スマートシティ推進事業（1億1,696万円）
ＤＸ（デジタルトランスフォーメーション）による市民生活の利便性向上と新たな経済活動の創出に向け、多様な関係者との密な連携を構築し、スマートシティの取組を推進します。ロボット実証サポート都市の実現に向け、３Ｄ空間とロボットを活用した取組にも着手します。

●保育業務電子化事業（4,108万円）
保育所などの入所申請における保護者の利便性向上を図るため、オンライン申請を導入します。本年度中の運用開始に向け、システムを構築します。

●スマート農業推進支援事業（600万円）
スマート農業技術の導入を加速させ、より生産性の高い食料供給体制を確立するとともに、農業の持続的な発展を図るため、農業者が新たに購入するスマート農業機械類などの費用の一部を補助します。

令和8年度の主な事業（数字は予算額）

①スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち

●プロスポーツチーム等連携事業（488万円）

本市をホームタウンとして活動するプロスポーツチームなどと連携し、継続的なホームゲームの盛り上げや新たなにぎわいの創出を図ります。本年度は、各チームのデザインをあしらったマンホール蓋を作製して設置します。

●荻野吟子知名度向上事業（441万円）

日本で最初の公認女性医師となった郷土の偉人「荻野吟子」の功績を顕彰するシンポジウムを開催し、知名度向上を図るとともに、本市の魅力発信につなげます。



荻野吟子

●アニメコラボレーション実施事業（347万円）

アニメキャラクターとコラボレーションしてスタンプラリーなどのイベントを開催し、誘客と市内周遊による観光を促進します。

②健康で安全・安心に暮らせるまち

●九都県市合同防災訓練実施事業（1488万円）

災害時の連携協力体制の充実・強化を図り、防災知識や減災への備えの向上を目指し、埼玉県と共同で九都県市合同防災訓練を開催します。

●任意接種費用助成事業（3716万円）

大人の風しん予防接種、造血幹細胞移植後ワクチン再接種、男子HPVワクチンのほか、50歳以上を対象とした帯状疱疹（たいじょうほうしん）ワクチンについても、引き続き接種費用の一部を助成します。

●歯科保健事業（911万円）

歯科検診について、新たに25歳と35歳を対象に加え、5歳間隔での歯科検診の機会を確保します。

③人にやさしい思いやりのあるまち

●不妊治療費助成事業（1408万円）

不妊治療を受けている夫婦の経済的負担の軽減を図り、妊娠や出産を望む方を更に支援するため、治療費に加えて本年度から通院に係る交通費の一部を助成します。

●全国健康福祉祭開催事業（2100万円）

60歳以上の高齢者を中心とするスポーツなどの祭典である「ねんりんピック」を通じ、高齢者の健康や生きがいづくりを推進します。本市ではソフトテニス、ラグビーの2種目を開催・運営します。

●乳児等通園支援事業（1億816万円）

保護者の就労要件を問わず、保育所などに子どもを預けることができる「こども誰でも通園制度」を実施し、子どもの成長を支援します。

④環境にやさしく自然が豊かなまち

●省エネ家電普及促進事業（500万円）

省エネルギー化を推進するため、省エネ性能を有する家電（エアコン、冷蔵庫および冷凍庫）を購入する世帯に対し、購入金額の一部を補助します。

●アライグマ・ハクビシン防除事業（841万円）

市内に住宅を所有し当該家屋に居住する方のほか、市内に空き家を所有する方に対し、アライグマとハクビシンの家屋への侵入防除に係る費用の2分の1（上限5万円）を補助します。

⑤人が集い活力ある産業が育つまち

●熊谷ブランド「晴れまち」認定品開発促進事業（290万円）

ブランド認証制度を活用した中小企業者などによる新たな製品開発や既存製品の改良を促進するため、開発などに係る経費の一部を補助します。

KUMAGAYA BRAND 晴れまち

●農産物ブランド化推進事業（1257万円）

ブランド認証制度による市産品の更なる価値向上に向け、新たな加工品などの開発を促進するとともに、熊谷ならではの農産物の魅力を発信します。

●元気な農業支援事業（1000万円）

農業者の経営安定・発展を支援し、市内農業者数の維持・確保とともに、農産物の安定供給を図るため、農業者が新たに購入する農業機械の費用の一部を補助します。

●企業誘致セミナー事業（258万円）

中心市街地のオフィス需要を喚起するため、都内などに拠点を置く企業を対象に、本市の特性や進出することによるメリットなどをPRするセミナーを実施し、企業誘致を推進します。

⑥快適で暮らしやすいまち

●池上地区「道の駅」整備事業（18億1864万円）

「食×子ども」を設計コンセプトとした道の駅を整備します。令和10年3月のオープンに向け、建設工事と外周道路の工事を行います。

●総合交通体系整備促進事業（2億9518万円）

利便性の高い公共交通ネットワークの形成や維持のため、コミュニティバスのほか、妻沼地域において乗合型オンデマンド交通を運行します。

●まちなかウォーカブル推進事業（1510万円）

居心地がよく、歩きたくなるまちづくりを推進するため、星川通り周辺の滞留空間の整備のほか、星溪園活用社会実験として雲海ミストや屋外ライトアップなどを行います。



星溪園

●熊谷運動公園子供広場整備事業（1900万円）

令和7年度に整備したじゃぶじゃぶ池で親子がより楽しく快適に過ごせるよう、日陰施設を設置します。



じゃぶじゃぶ池

●年代八ツ口線道路改良事業（1457万円）

妻沼地域の東西幹線道路として重要な役割を担う年代八ツ口線の未整備区間を整備します。本年度は、物件調査を行います。

●市道121号線道路改良事業（1870万円）

国道17号自衛隊入口交差点から県道原郷熊谷線新堀（北）交差点までの西側の歩道整備を行います。本年度は、用地測量と詳細設計を行います。

●荒川かわまちづくり整備事業（2464万円）

熊谷駅南口エリアにおいて、国と連携して河川空間とまち空間が融合したまちづくりを進めます。本年度は、荒川緑地の再整備に向けた詳細設計や社会実験などを行います。

⑦地域に根ざした教育・文化のまち

●生活道路および排水路の整備の推進（15億3601万円）

生活道路の側溝整備や舗装新設・補修、排水路の整備・修繕など、自治会などから要望の多い生活環境の改善を引き続き進めます。

●小学校校舎大規模改造事業（9億1000万円）

老朽化した校舎の外壁改修などを計画的に実施します。本年度は、熊谷西小学校と佐谷田小学校の大規模改修工事を行います。

●防災ノート導入事業（150万円）

児童・生徒の防災意識の向上と防災教育の充実を図るため、発達段階に応じた防災ノートを作成して配布します。

●「荻野吟子物語」マンガ制作事業（362万円）

日本で最初の公認女性医師となった郷土の偉人「荻野吟子」の功績と生涯を親しみやすいマンガ形式で紹介し、その事績を広く伝え、郷土への誇りを醸成します。

●妻沼図書館大規模改修事業（3億9891万円）

利用者の安全性や利便性の向上のため、老朽化した妻沼図書館の大規模改修工事を実施します。

●展示品レプリカ作製事業（498万円）

郷土熊谷に関連する国指定重要文化財である「埴輪　馬」（東京国立博物館所蔵）のレプリカを作製し、広く熊谷の文化・歴史をPRします。



国指定重要文化財「埴輪 馬」
出典：ColBase(https://colbase.nich.go.jp/)

⑧市民と行政が協働して創る満足度の高いまち

●シティプロモーション事業（460万円）

地域の魅力を市内外に発信する活動や、地域の魅力を「見つける、創る、磨く」活動など、本市の魅力を高める取組を実施します。

●市民協働「熊谷の力」荻野吟子顕彰事業（146万円）

日本で最初の公認女性医師となった郷土の偉人「荻野吟子」の功績とその不屈の精神について、市民参加型の演劇の開催を通じて次世代に継承するとともに、女性活躍のまちを推進します。

愛する郷土 熊谷に学ぶ 日本一の子どもたち！

知・徳・体のバランスのとれた学力で 時代を生き抜く力を育てます

本市では、「知力」だけを学力とは考えていません。思いやりの心などの「徳力」や、走る力、投げる力などの「体力」も含め、知・徳・体のバランスのとれた学力を育みます。そのため、「授業は一期一会、授業中こそ子どもと向き合う時間」という気持ちで、一時間一時間の授業を大切にしています。

明治21年、本市弥藤吾に設立された幡羅高等小学校では、「教育の道は、家庭の教えで芽を出し、学校の教えで花が咲き、地域の教えで実がなる。」と言われていました。熊谷教育はこの教えを受け継ぎ、皆様のご理解とご支援のもと、子どもたちの成長を支えてまいります。

問 学校教育課 ☎内線386

学 校
学校の教えで花が咲き







知 の取組

・学習内容（身に付ける力）を明確にした授業
・「子どもと教師、子ども同士が向かい合い、活字を用いた授業」を基本にした、ICT機器、1人1台端末を効果的に用いた授業
・校内教育支援センター「新くまなびスクール」を全小中学校で実施　など





生きる力

家 庭
家庭の教えで芽を出し



地 域
世間の教えで実がなる



徳 の取組

・郷土愛の醸成（荻野吟子、権田愛三など）
・実生活における道徳の「見える化」
・熊谷の子どもたちは、これができます！「4つの実践」と「3減運動」　など

体 の取組

・体育指導専門員の訪問指導による教員の資質向上
・食育の推進による望ましい食習慣の形成
など

「新熊谷プロジェクト」具体的な取組



教科等横断的な授業

教科等横断的な授業とは、関連する教科や複数の単元にまたがる学習内容を精選、統合する授業です。

例

総合的な学習の時間「暑さに負けない 熊谷のまち！」
熊谷の暑さ対策の取組 → 郷土熊谷を知る【社会】
暑さ対策を他市と交流 → 話し方、聞き方【国語】
自分でできる暑さ対策 → 衣食住【家庭】、健康と環境【保健】



オーセンティックな授業

オーセンティックな授業とは、現実社会に存在する、本物の実践に可能な限り近づけた授業です。

例

ドーナツが20個あります。1箱に6個のドーナツを入れます。
全部のドーナツを入れるには、箱は何個あればよいでしょう。
20÷6＝3あまり2　3あまり2箱？ 2箱？ 3箱？ 4箱？



校内教育支援センター「新くまなびスクール」

新くまなびスクール支援員を各学校に配置し、児童・生徒一人ひとりを大切にする学習支援および登校支援を充実させます。



教育相談は「教育研究所」へ

相談内容	⑴勉強や友だちのこと　⑶家庭や家族のこと ⑵不登校やいじめのこと　⑷その他、悩みや不安など
面接相談	市役所本庁舎6階 教育研究所教育相談窓口
電話相談	○教育研究所教育相談窓口：048-524-1111（内線551） ○熊谷市教育支援センター さくら教室：048-523-1570



4月1日から 家庭用リチウム蓄電池などの拠点回収がはじまります！

リチウム蓄電池は適切に廃棄しないと、発火などによる重大事故につながるおそれがあります。廃棄するときはビニールテープで絶縁処理を行い、対象の「回収ボックス」に入れてください。

回収対象

●リチウム蓄電池



など

●小型家電に内蔵された、リチウム蓄電池



など

※小型家電ごと廃棄できます

⚠ **膨張・破損している場合は「環境美化センター」または「環境推進課」に直接お持ちください。**

回収方法

ステップ１：テープで絶縁する



※電極部、端子部をビニールテープで絶縁してください。

ステップ２：回収ボックスに入れる

赤：リチウム蓄電池用　　黄：小型家電用



※ボックスの形状はイメージです。

拠点回収場所

	回収場所	受入時間	蓄電池の膨張、破損など		住所および問合せ先
			なし	あり	
1	環境美化センター 事務所	月～金曜日 8:30～17:15	○	○	肥塚1125 048-524-7121
2	環境推進課　廃棄物対策係 （江南庁舎2階）	月～金曜日 8:30～17:15 ※祝日を除く	○	○	江南中央1-1 048-536-1556
3	熊谷市役所 地下警備員室前		○	×	宮町2-47-1 ※問合せは環境美化センター
4	大里行政センター 地域振興係		○	×	中曽根654-1 0493-39-0312
5	妻沼行政センター 地域振興係		○	×	弥藤吾2450 048-588-9988
6	一般廃棄物最終処分場 管理棟	月～金曜日 9:00～12:00 13:00～16:00	○	×	拾六間76-1 048-533-4046

問環境美化センター　048-524-7121　問環境推進課（江南庁舎）　048-536-1556

自転車への交通反則通告制度（青切符）が導入されます

令和8年4月1日から、自転車の交通違反に交通反則通告制度（青切符）が導入されます。これを機に交通ルールやマナーを再確認し、安全運転を心がけましょう。

交通反則通告制度

運転者がした道路交通法違反（比較的軽微なもの）について、定額の反則金を納付することで、刑事裁判や家庭裁判所の審判を受けないで違反が処理されるという制度です。

対象年齢　16歳以上（運転免許の有無は関係なし）

※詳しくは、右記コードからご確認ください。

問安心安全課
☎内線334

埼玉県警ホームページ（青切符制度の導入）

市ホームページ（自転車安全利用五則）

●主な反則行為と反則金

違反行為	反則金
携帯電話の使用（保持）	12,000円
信号無視（赤色など）	6,000円
通行区分違反（右側通行など）	6,000円
指定場所一時不停止など	5,000円
無灯火	5,000円
並進禁止違反	3,000円
軽車両乗車積載制限違反（二人乗り）	3,000円

家庭用住宅等防犯対策補助金を交付します

○家庭用防犯カメラ

対象者：市内在住の方
補助金額：設置費の1/2（上限額3万円）
対象経費：家庭用防犯カメラの購入や工事に要した費用など
対象機器：継続して撮影する機能を有するもの
夜間撮影をする機能を有するもの
追跡機能を有しないもの

※購入前に申請書の提出が必要です。

○特殊詐欺対策電話機器

対象者：市内在住の65歳以上の方
補助金額：購入費の1/2（上限額1万円）
対象機器：呼出し前に自動応答し、発信者へ通話の録音を通知し、通話が開始されると同時に自動で録音を開始する電話機や固定電話に接続する機器（通常の留守番機能のみの電話は対象外）

※いずれも、令和8年4月1日以降に市内店舗で購入したものが対象です。
※補助金は熊谷市地域電子マネー「クマPAY」で交付します。
※申請書に必要事項を記入の上、必要書類を添付して、下記へ提出してください。
※申請書は下記で配布、または右記コードからダウンロードできます。
※詳しくは、機器購入前に右記コードからご確認ください。

問安心安全課　☎内線339

市ホームページ（家庭用防犯カメラ）

市ホームページ（特殊詐欺対策電話機器）

（仮称）第2中央生涯活動センターの愛称を募集します！

「つながるフィールド～生涯活動拠点～」を基本理念として、「生涯」にわたって、あらゆる分野の「活動」の拠点となる施設の整備を進めています。令和9年10月のオープンに向け、施設の愛称を募集します。

応募資格　熊谷市民および熊谷市にゆかりのある方
応募期間　4/1（水）～5/1（金）
応募方法　応募用紙またはインターネット
発表　市報、市ホームページ

※詳しくは、右記コードからご確認ください。

問市民活動推進課　☎内線330

市ホームページ



令和8年度　帯状疱疹ワクチン接種

帯状疱疹の予防接種は2つの制度で実施します。

問健康推進課　☎048-528-0601

種別	定期接種	任意接種（市が費用の一部を助成）
対象者	接種日において熊谷市に住民登録がある、以下のいずれかの要件を満たす方 ①65歳の方 ②70・75・80・85・90・95・100歳の方 ③60歳以上65歳未満で、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障害を有する方 ※①②は年度年齢、③は実年齢を対象とします。	接種日において熊谷市に住民登録がある、50歳以上（実年齢）の方で、左記定期接種の対象者以外の方 ※接種をご希望の方は、令和8年度中の計画的な接種をお願いします。
自己負担額	生ワクチン　2，500円/1回 不活化ワクチン　9，000円/1回	①市内実施医療機関で接種の場合 ⇒助成額を差し引いた額 ②市外等実施医療機関以外で接種した場合 ⇒全額支払後、助成額を申請（期限日：令和9年3月31日） ※医療機関により自己負担額が異なります。 【助成額】生ワクチン　4，500円/1回 不活化ワクチン　12，000円/1回
予診票	対象者に個別に発送	実施医療機関に設置
申込み	実施医療機関に直接予約	実施医療機関に直接予約
その他	※詳しくは右記コードから	※詳しくは右記コードから

【ワクチンの種類】〈定期接種・任意接種ともに２種類のワクチンから１種類を選択できます〉

種類	乾燥弱毒生水痘ワクチン 生ワクチン（ビケン）	乾燥組換え帯状疱疹ワクチン 不活化ワクチン（シングリックス）
接種方法	皮下注射	筋肉注射
接種回数	1回	2回（2回目は原則1回目から2か月後）
持続期間	5年程度　※個人差があります	10年程度　※個人差があります

クビアカツヤカミキリの被害拡大防止に係る補助金

クビアカツヤカミキリ（特定外来生物）によって桜や桃などが枯れる被害を防ぐため、予算の範囲内で下表の拡大防止取組に対して補助します。

問環境政策課（江南庁舎）　☎048-536-1547

対象	補助金額
被害木を所有、管理し、伐採または薬剤防除を市内の業者に委託した個人・事業者（寺社など含む）	伐採または薬剤防除に要した費用の1／2で百円未満切捨て（上限5万円）